

研修レポート

2017/1/9/-2/3 名古屋第一赤十字病院

僕は最初の週をインフルエンザでお休みを頂いたため、3週間研修をさせて頂きました。最終週では、せっかく病院や人に慣れてきてもう1週間研修できればと後悔しました。

院外の実習では、訪問看護や訪問介護や老健や助産所と地域の多くの場所を見学・実習しました。そういった場所に行くのは大学の時以来で、昔とは違った視点からもう一度学び直すことができました。地域医療の最前線で働かれている人たちの優しさや熱意を身に染みて感じました。今後の医師生活でも、自分が働く場所だけでなく、様々な医療現場があることを理解するよう努力して行きたいと思いました。地域での診療は多くの人の温かさが感じられて、地域で働くことの楽しさを感じました。

院内の研修は、内科外来や救急車の対応、入院した場合は入院経過まで見させて頂きました。外来や救急車で見た患者さんについては、毎日の夕方振り返りで、自分が聞けていなかったことや考えていなかったことを教えて頂きました。普段の救急外来では致命的な疾患を除外しようと自分の行いたい検査ばかり考えていましたが、患者さんの訴えや希望に沿って診療を進めていくことの大切さを教えて頂きました。また、外来で経過を見ていく中で経過を見ながら治療まで考えておくことの必要性を感じました。新城市民病院と一緒に実習した研修医の先生の診察を多く見学できたことも勉強になりました。中村先生には、夜間の救急で患者さんへの接し方、各疾患の治療などを教えてもらうことができ、今後の勉強の良い刺激となりました。病棟内やナースステーションでは、道に迷っている時やどうしたらいいかわからない時など、声をかけて教えてもらえたことなど嬉しかったです。外来の看護師さんから教えて頂いたことも忘れずに頑張っていきたいと思います。

朝の勉強会や Up-to-date 勉強会、EBM 勉強会では、身近に思った疑問を自分で調べて解決することを学びました。研修医の自分にはまだ難しいと思う英語論文を診療に活用していく方法を教えて頂きました。そういう姿勢を身につけることで、普段の診療により疑問点や課題を発見していけると思いました。研修医を終えると、自分で多くの問題を解決していかななくてはならない状況になるので、今のうちに自分で解決する練習も新城市民病院で学んだことを活かして取り組んでいきたいです。

最後に、先生方、看護師さん、事務の方などを始め、多くの人に優しく接してもらいました。新城市民病院ではすれ違おうと皆さんが挨拶する習慣になっていて、気持ちよく研修生活を送らせて頂くことができました。医師としては1年目で知識としても未熟で、慣れない病院での研修で、ご迷惑をおかけすることも多々あったと思いますが、研修医の早い段階で、新城市民病院で実習をすることができて、本当に良かったと思います。今後の研修医・医師生活に役立てて精進していきたいと思いました。

短い間でしたが、ありがとうございました。